

キウイフルーツの整枝せん定

第3報 結果母枝の大きさと切返し程度

緒方俊雄・古原剛二・松本誠司・*大瀬正純 (大分県農業技術センター・*大分県農水産物加工総合指導センター)

Toshio OGATA, Goji KOHARA, Seiji MATSUMOTO and Masazumi HIROSE : Pruning-method of Kiwi Fruit.

3. Degree of cutting back the previous year vine

良品多収の着果条件には優良な結果枝を多数得ることが重要と考えられるため、結果母枝の切返し程度について検討したので報告する。

1. 材料および方法

1984年1月、場内の13年生ハイワード1樹を用い、表のように前年が結果枝であったものと非結果枝であったものを6段階に分け、これに切返し程度として、前年が結果枝であったものは着花位置より上の芽数を3段階に残し、非結果枝であったものは中庸の切返し程度に5芽を加えて切返して組合せた。供試結果母枝数は1区5本以上、計180本であった。

栽培管理では供試した枝は新梢の間引きおよび摘心は行わず、供試外の枝で棚の明るさを調整した。摘果は5葉に1果あてとした。

2. 結果および考察

発生する枝数は切返し程度が弱いほど多くなるが、発生率は逆に低下する傾向があり、5芽せん定では80%以上得られるが、3芽せん定では100%の発生率であった。

結果枝率では80cm以下の弱小な結果母枝では、切返し程度が強いほど新梢の結果枝率は高くなるが、100cm以上の結果母枝ではこのような傾向はみられなかった。

葉数19枚以上を有する長大な結果枝の発生は、3芽せん定で特に多発する傾向があるが、本数的にはわずかであり、栽培上では問題にならないと思われる。また、100cm以上の結果母枝にも多発の傾向がある。

良い結果枝は前報で葉数15枚前後が得られたので、ここでは12~18枚の範囲とすれば、40cm以下の結果母枝での発生率が高いが、これは切返し程度が強かったとしても、弱小枝でも十分利用が可能なが明らかになった。

また、250cm以上の非結果枝であったものでも、良好な結果枝が多く得られ、利用場面を考えれば使える。

収穫果数は結果母枝が長大なほど多く、切返し程度が弱いほど多くなった。

果実の大きさは結果母枝の長さ60~100cmで大きい傾向があるが、60cm以下でも十分であり、明らかに小果となるのは長大な結果母枝や前年が非結果の母枝で遅伸びする場合であった。

1表 結果母枝の切返し程度と結果枝の発生(1984)

結果母枝長	切返し程度	発生枝数	収穫果数	1果重	結果枝の葉数別発生率(%)					
					~11枚	12~18枚	19枚~	結果枝率	非結果枝率	
25~39	2芽	2.1	4.2	104.6	52.0	24.0	8.0	84.0	16.0	
	4	2.5	3.8	99.6	62.8	22.2	0.0	85.2	14.8	
	6	2.7	4.7	102.7	62.5	12.5	3.1	78.1	21.9	
	非結果枝	2.0	3.0	99.6	10.0	50.0	10.0	70.0	30.0	
40~59	2~3	3.0	4.6	101.5	61.1	11.1	11.1	83.3	16.7	
	4~5	3.8	4.7	104.1	38.2	0.0	0.0	88.2	11.8	
	6~7	4.2	4.6	99.8	68.0	12.0	0.0	80.0	20.0	
	非結果枝	4.3	5.7	98.1	76.9	0.0	7.7	84.6	15.4	
60~80	3	3.0	5.0	104.4	62.5	16.7	8.3	87.5	12.5	
	5	5.0	6.8	104.0	72.5	10.0	0.0	82.5	17.5	
	7	4.6	6.8	100.9	73.0	5.4	2.7	81.1	18.9	
	非結果枝	4.8	7.5	90.9	66.6	16.7	0.0	83.3	16.7	
85~99	3	3.3	5.8	104.2	60.0	20.0	0.0	80.0	20.0	
	5	4.6	7.3	105.9	68.7	6.3	3.1	78.1	21.9	
	7	5.4	8.2	102.4	66.7	18.5	0.0	85.2	14.8	
100~240	5	4.0	7.6	98.0	50.0	25.0	5.0	80.0	20.0	
	8	7.3	9.3	93.1	65.2	9.1	4.5	78.8	21.2	
	11	8.2	12.8	97.7	69.4	12.2	8.2	89.8	10.2	
	非結果枝	7.7	12.7	82.8	65.3	15.9	10.1	91.1	8.9	
250以上	5	5.4	10.8	97.5	51.9	11.1	14.8	77.8	22.2	
	8	5.0	12.5	98.4	70.0	10.0	10.0	90.0	10.0	
	11	9.0	11.8	103.4	66.7	8.3	2.8	77.8	22.2	
	非結果枝	12.0	24.0	86.8	29.2	41.7	12.5	83.3	16.7	

以上の結果、15葉前後の優良な結果枝を得るには第2表のようにせん定するのが良いと考えられる。

第2表 結果母枝の切返し程度の目標

結果母枝の大きさ	切返し程度(着花節の上)	残す結果枝の数
80cm 以下	2~3 芽	1~3 本
85~100	5~7	3
100 以上	8~11	4~5